

令和 2 年度道德教育指導者養成研修（NITS オンライン研修）

実 施 要 項

1 目 的

道德教育を担当する教職員や指導主事等に対し、校長のリーダーシップの下、学校の教育活動全体を通じて行う道德教育や道德教育推進教師を中心とした全教師による協力体制の充実と道德教育の展開、実践活動や豊かな体験活動の充実、「特別の教科 道德」の指導と評価等について、必要な知識等を習得させ、各地域における本研修の内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者の養成を図る。

2 主 催 独立行政法人教職員支援機構

3 共 催 文部科学省

4 受講期間等 ※期間及び期限は全て令和 2 年度

受講者は、以下①～⑤の中から受講可能な期間を第 2 希望まで選択し、推薦者に報告する。

受 講 期 間（選択制）	推薦期限
① 11 月 10 日（火）～11 月 12 日（木）	10 月 12 日（月）
② 11 月 17 日（火）～11 月 19 日（木）	
③ 12 月 1 日（火）～12 月 3 日（木）	
④ 12 月 8 日（火）～12 月 10 日（木）	
⑤ 12 月 15 日（火）～12 月 17 日（木）	

※ 視聴可能期間については、受講期間の前後 1 週間程度を予定しており、システム上はこの期間内のいつでも視聴可能であるが、受講者が研修に専念できるよう、推薦者には適切な受講環境及び研修時間の確保等、特段の配慮をお願いする。

5 実施方法 インターネットでオンライン研修を視聴する。（同時双方向通信は行わない）

6 配信元 独立行政法人教職員支援機構 つくば中央研修センター

〒305-0802 茨城県つくば市立原 3 番地

7 受講者

(1) 受講資格

- ① 都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準じる者
- ② 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭及び教諭
- ③ 当機構の修了証書をもって単位認定を行う（予定を含む）教職大学院の学生（教職経験のある者に限る。）

※ 本研修の目的に鑑み、受講者は道德教育に関わる各地域の研修において講師等として活動を行う者とする。

※ 「第 4 次男女共同参画基本計画」（平成 27 年 12 月 25 日閣議決定）を踏まえ、本研修における女性教職員の割合を 25%以上とすることを目標としている。女性の積極的な推薦について配慮すること。

（参考：令和元年度…32.5%、平成 30 年度…42.1%）

(2) 推薦手続

推薦期限は、令和2年10月12日（月）とする。

各都道府県・指定都市教育委員会においては推薦者を取りまとめ、「研修情報登録システム」により推薦を行う。

中核市教育委員会においては、[様式1]により都道府県教育委員会に連絡し、都道府県教育委員会が「研修情報登録システム」により推薦を行う。

私立学校においては、都道府県知事部局に連絡し、都道府県知事部局が、教職員支援機構（電子メール「kk2@ml.nits.go.jp」）宛てに、[様式1]により推薦を行う。

国公立大学法人、独立行政法人国立青少年教育振興機構及び教職大学院を置く各大学については、各機関の担当部局が取りまとめの上、教職員支援機構（電子メール「kk2@ml.nits.go.jp」）宛てに、[様式1]により推薦を行う。

(3) 受講者の決定

各都道府県・指定都市教育委員会等からの推薦に基づき、教職員支援機構が決定し通知する。本研修はすべてオンラインで実施するため、定員に制限は設けないが、各受講期間における人数比の調整のため、第2希望で受講決定をする場合がある。

8 研修内容

日程表は「別紙1」のとおりとし、受講者は研修終了後に「課題レポート」を提出する。なお、「課題レポート」の様式、提出方法等については、受講者決定時に別途連絡する。

9 事前課題

(1) 研修成果活用計画書の作成

受講者および所属長は事前に「研修成果活用計画書」を作成し、提出すること。なお、様式、提出方法等については、受講者決定時に別途連絡する。

(2) その他の事前課題

その他の事前課題がある場合は、受講者決定時に別途連絡する。

10 研修成果の活用

本研修は、受講者の研修成果を各学校や地域で活用することを前提としている。そのため、研修終了後1年程度の期間後に、研修成果の活用状況（研修企画、研修講師、他校訪問等）についてのアンケート調査を実施する。推薦者は、研修修了者に対し、研修成果を効果的に活用する機会の提供、確保等の配慮をすること。

11 その他

(1) すべての講義を受講し、「課題レポート」を提出した受講者には修了証書を授与する。受講者推薦の際に、必ず受講者の氏名を確認し、正確に記入すること。

(2) 本研修は、非集合型のオンライン研修であり、学習管理システム「学びばこ」（（株）テクノカルチャー）を利用して研修を配信するものである。「学びばこ」はソフトウェアやアプリをダウンロードする必要がなく、スマートフォン等の端末からも視聴でき、システム上はどこからでも視聴可能であるが、受講者が研修に専念できるよう、推薦者には適切な受講環境及び研修時間の確保等、特段の配慮をお願いする。

令和2年度 道德教育指導者養成研修(NITSオンライン研修)

		9:00						16:00
(火)		開講にあたって	文部科学省講話 文部科学省 総合教育政策局 局長 浅田 和伸	(第1講) 講義 道德教育のマネジメントについて 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 浅見 哲也	リフレクション	昼休憩	(第2講) 講義 実践活動や体験活動を通した道德教育 ～道德的実践の重要な学習活動の場としての特別活動～ 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 安部 恭子	リフレクション
(水)	小・中学校部会		(第3講) 講義 特別の教科 道德の指導と評価 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 浅見 哲也	リフレクション	昼休憩		(第4講) 講義 特別な支援を要する児童・生徒に対する道德教育 ～特別支援学級における道德科の在り方を中心に～	リフレクション
	高等学校部会		(第3講) 講義 人間としての在り方生き方に関する教育の展開 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 飯塚 秀彦	リフレクション			聖徳大学 名誉教授 吉本 恒幸	
(木)	小・中学校部会		(第5講) 講義 道德教育アーカイブの授業の視聴 ～道德科の指導・助言の在り方～ 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 浅見 哲也	リフレクション	昼休憩		(第6講) 講義・演習 道德教育を推進するリーダーとして 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 飯塚 秀彦	閉講にあたって
	高等学校部会		(第5講) 講義 道德教育アーカイブの授業の視聴 ～道德科の指導を高校での道德教育に活かすために～ 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 飯塚 秀彦	リフレクション				

※ 午前・午後とも、講義・演習とリフレクションの150分で構成しています。適宜、休憩を取りながら受講願います。

※ 「リフレクション」とは、受講者自身の教育実践を振り返りつつ、講義内容について理解を深める演習の時間です。

**令和2年度道德教育指導者養成研修（NITS オンライン研修）
受講に当たっての留意事項**

1 研修期間・視聴可能期間について

（１）研修期間：受講決定時に指定された期間（３日間）

（２）視聴可能期間等

研修期間	視聴可能期間	課題レポート締切日
① 11月10日～11月12日	11月5日～11月20日	11月20日
② 11月17日～11月19日	11月10日～11月27日	11月27日
③ 12月1日～12月3日	11月24日～12月11日	12月11日
④ 12月8日～12月10日	12月1日～12月18日	12月18日
⑤ 12月15日～12月17日	12月8日～12月25日	12月25日

※ 原則として指定された「研修期間」中に受講してください。

※ 課題レポート締切日を過ぎると、視聴することはできません。

※ 研修期間中に受講できなかった講義の視聴や、一度受講した講義の復習（再視聴）は、「視聴可能期間」中であれば以下の日時以外いつでも可能です。

※ 毎週日曜日 23:00～24:00 はシステムメンテナンスのため視聴できません。

2 受講環境

・インターネットに接続できる端末（パソコン、タブレット、スマートフォン等）

【動作確認について】

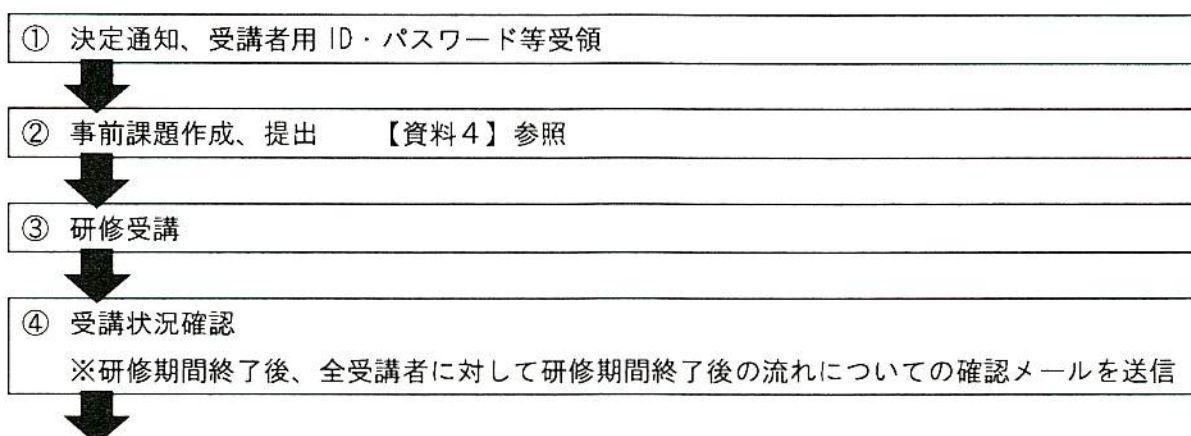
各研修期間の1週間程前から「視聴可能期間」を設定しています。

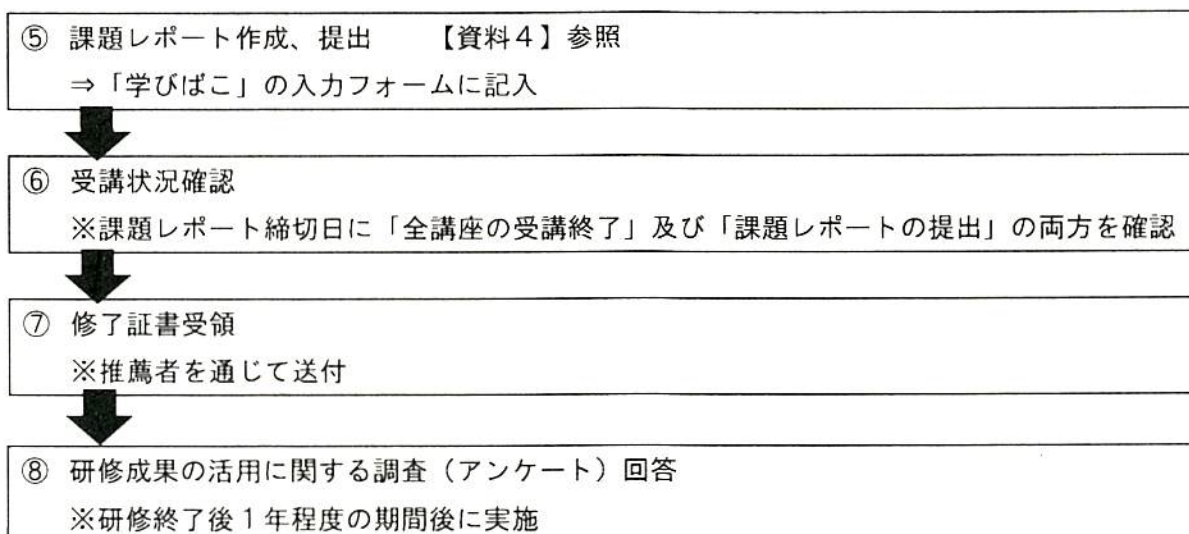
研修期間前に動作確認が必要な場合には、「視聴可能期間」中にログインして確認をお願いします。

（動作確認用にサンプル動画等を掲載した「動作確認テスト」の項目を設けていますので、自由にお使いください。）

※アクセスの集中を防ぐため、動作確認テストを行う方は、「8:45～9:15」「12:45～13:15」以外の時間帯にログインをしてください。

3 研修受講の流れ





4 受講に当たっての注意点

(1) 研修で使用するために準備する資料等

受講者用 ID・パスワード 【資料6】

※登録メールアドレスに誤りがないか事前に御確認ください。

(2) 講義資料の活用等について

各講義資料の表紙に、資料活用の範囲、注意点等について記載しています。

資料活用の際は記載内容を御確認ください。

5 未受講講座・未提出課題の確認・連絡と修了証書の発行について

<受講講座の確認について>

- ・指定した「研修期間」終了の翌日（金曜日）に全受講者に対して、研修期間終了後の流れについての確認メールを送信します。翌週月曜日に未受講がある受講者については、推薦者に通知します。

<提出課題の確認について>

- ・本研修の「課題レポート」は「学びばこ」の入力フォームに記入します。

<修了証書の発行について>

- ・本研修の修了証書は、「全講座の受講終了」および「課題レポートの提出」(締切日厳守)の両方が確認できた受講者に対して発行します。

課題レポート締切日までに提出が確認できない場合、修了証書は発行しません。

- ・「課題レポート」締切り後、概ね2週間以内に推薦者に修了証書と提出していただいた「課題レポート」を郵送します。その際、教職員支援機構からの広報資料等を同封します。

6 研修の中止、期間変更について

やむをえず研修の受講を中止する場合や、研修期間を変更する場合は、推薦者を通じて教職員支援機構に御連絡ください。

7 その他

(1) メールを受信設定について

迷惑メールのフィルタリング等の設定を行っている場合は、「aml.nits.go.jp」および「nits.go.jp」のドメインからのメールを受信できるように設定してください。

※未受講講座についてのお知らせや、緊急の全体連絡等については、

「t-online@aml.nits.go.jp」のアドレスより送付します。

※個別の問い合わせへの回答は、「t-online@aml.nits.go.jp」または

各研修担当者のアドレス（例：「*****@nits.go.jp」）より送付します。

(2) 追加の連絡がある場合は、「学びばこ」ログイン後のページ上部に「お知らせ」として掲示します。ログイン時、「お知らせ」欄を確認いただくようお願いします。

<問合せ先>

独立行政法人教職員支援機構

つくば中央研修センター 研修プロデュース室

新名主、早川、小野

TEL : 029-879-6972、6639 FAX : 029-879-6645

E-mail : t-online@aml.nits.go.jp

「学びばこ」利用簡易マニュアル

道徳教育指導者養成研修（NITS オンライン研修）では、（株）テクノカルチャーの「学びばこ」を使用して研修を行います。

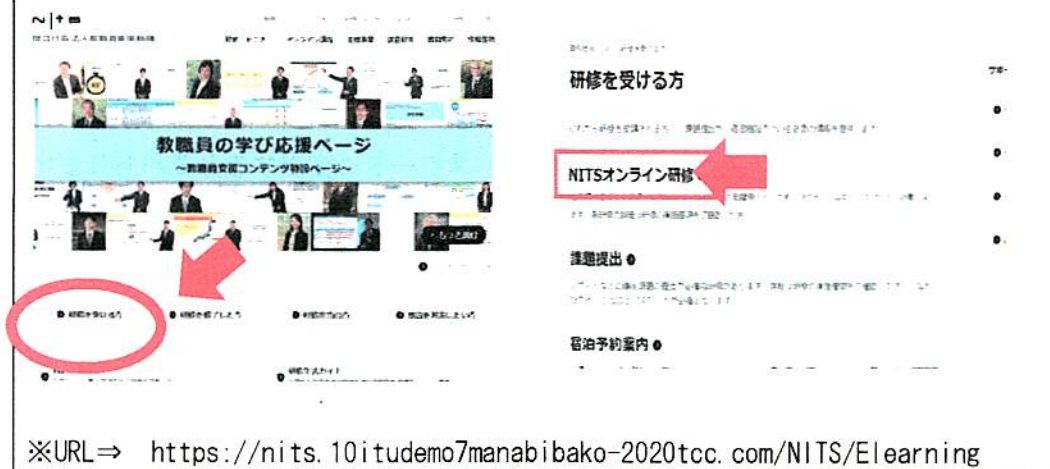
【受講の流れ】各項目の操作方法詳細は、指定のページを確認してください。

1. 「学びばこ」にログインする（P. 2）
※初回時のみ、初期パスワードから任意のパスワードに変更する必要があります。
2. 講義資料をダウンロードする（P. 5）
3. 講義動画を視聴する（P. 8）
4. 講義内容を振り返り、講座アンケート等へ回答する（P. 10）
※日程表【資料1】記載の「リフレクション」の時間を用いて行います。
①講義を受け、学んだこと・考えたことの記述（自由記述）
（文量の指定はありませんので、数行程度の簡潔なもので構いません）
②簡単なアンケート（動画の音質や画質に関するもの）
以上2点に回答いただきます。
5. 「学びばこ」からログアウトする（P. 12） ★必ず確認してください
6. その他Q & A など（P. 13）

1. 「学びばこ」にログインする

(1) NITS オンライン研修ページにアクセスする

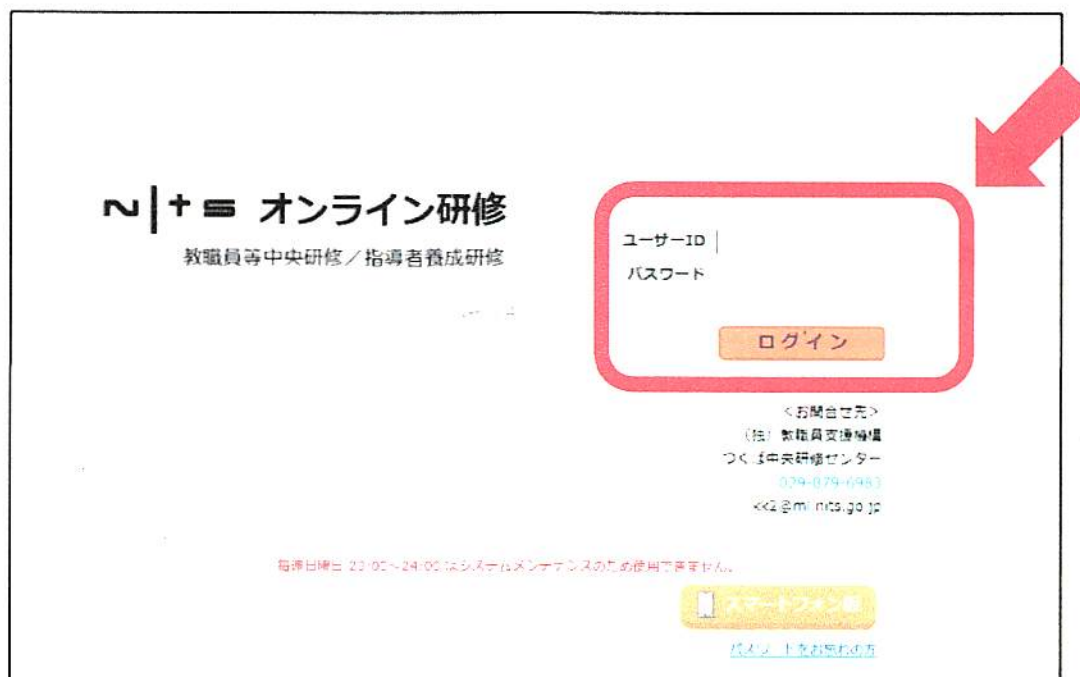
- ① 独立行政法人教職員支援機構のホームページ (<https://nits.go.jp>) にアクセスする。
- ② 「研修を受ける方」→「NITS オンライン研修 受講用ページ」の順に移動する。



※URL⇒ <https://nits.10itudemo7manabibako-2020tcc.com/NITS/Elearning>

(2) <初回ログイン時限定>

【資料6】に記載の ID・初期パスワードを利用してログインする。



ユーザーID |
パスワード

ログイン

<お問い合わせ>
(独) 教職員支援機構
つくば中央研修センター
029-879-6983
✉ cc2@nits.go.jp

毎週日曜日 23:00～24:00 はシステムメンテナンスのため使用できません。

スマートフォン
[パソコン上からお見えの方](#)

(3) <初回ログイン時限定>

パスワード変更画面が表示されるため、任意の新しいパスワードを設定する

オンライン研修 test10さん

ホーム パスワード ログアウト

パスワード変更

パスワードは6文字から15文字の範囲で入力して下さい。

現在のパスワード

新しいパスワード

新しいパスワードの確認

初期パスワード

新しいパスワードを自分で考えて設定

変更 戻る

字びばこ

<お問合せ先> (独) 教職員支援機構 つくば中央研修センター | 029-879-6983 | kk2@ml.nits.go.jp

(4) <初回ログイン時限定>

「パスワードを変更しました」の表示のあと、自動的にログイン前の画面に戻る

オンライン研修

教職員等中央研修／指導者養成研修

ユーザーID

パスワード

ログイン

パスワードを変更しました

パスワードを忘れた方

(5) IDと(3)で設定したパスワードを利用してログインする

※パスワードを忘れた場合は、画面下部の「パスワードをお忘れの方」から再発行をしてください。（登録メールアドレスを使用します。）

再発行がうまくできない場合は、「お問合せ先」まで御連絡ください。

（電話受付時間…平日 8:30～17:15）

(6) ログイン後のTOPページを確認する

2. 講義資料をダウンロードする

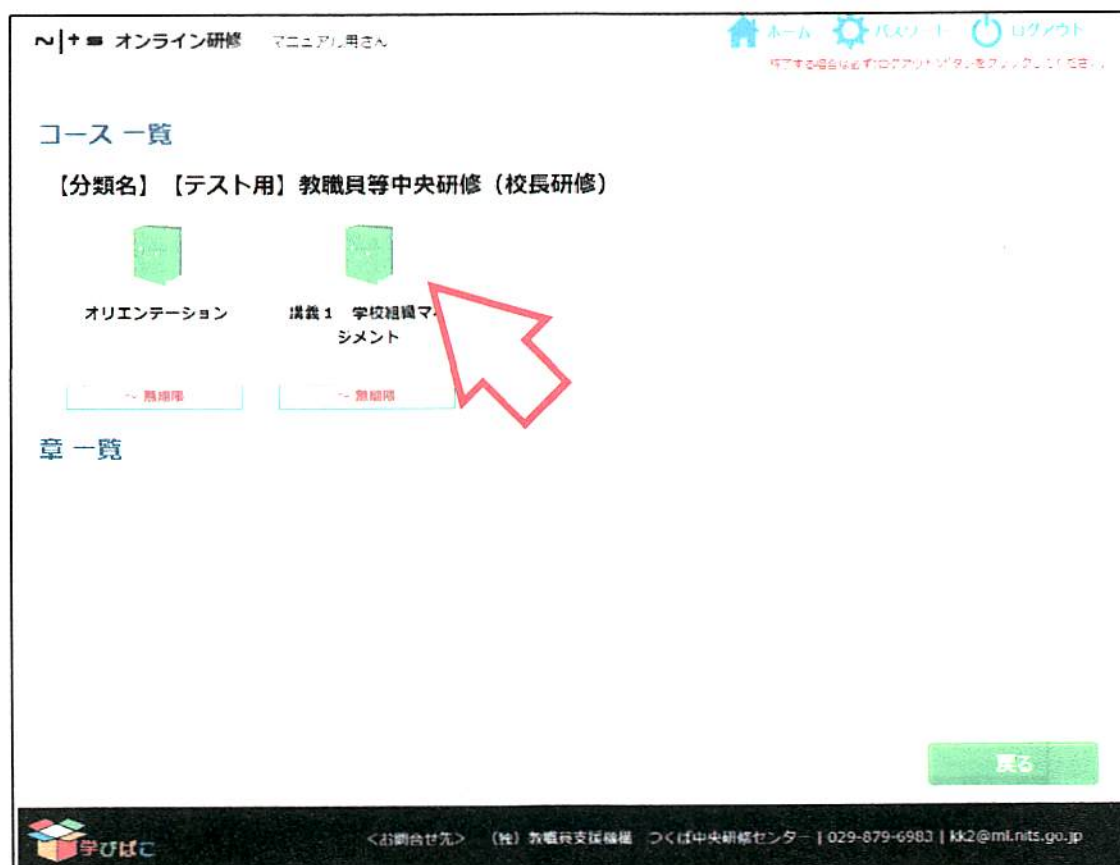
※以下の画面上のコンテンツはマニュアル用のサンプルです。

実際の研修時とはコンテンツ名等が異なります。

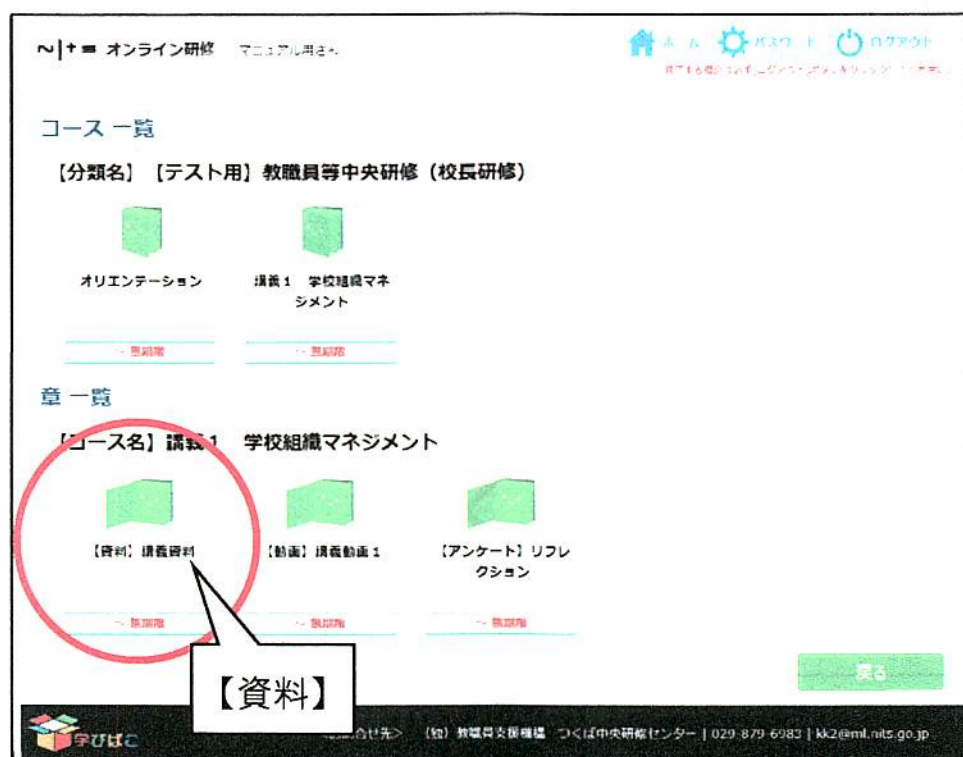
- (1) 受講する研修の箱をクリックする



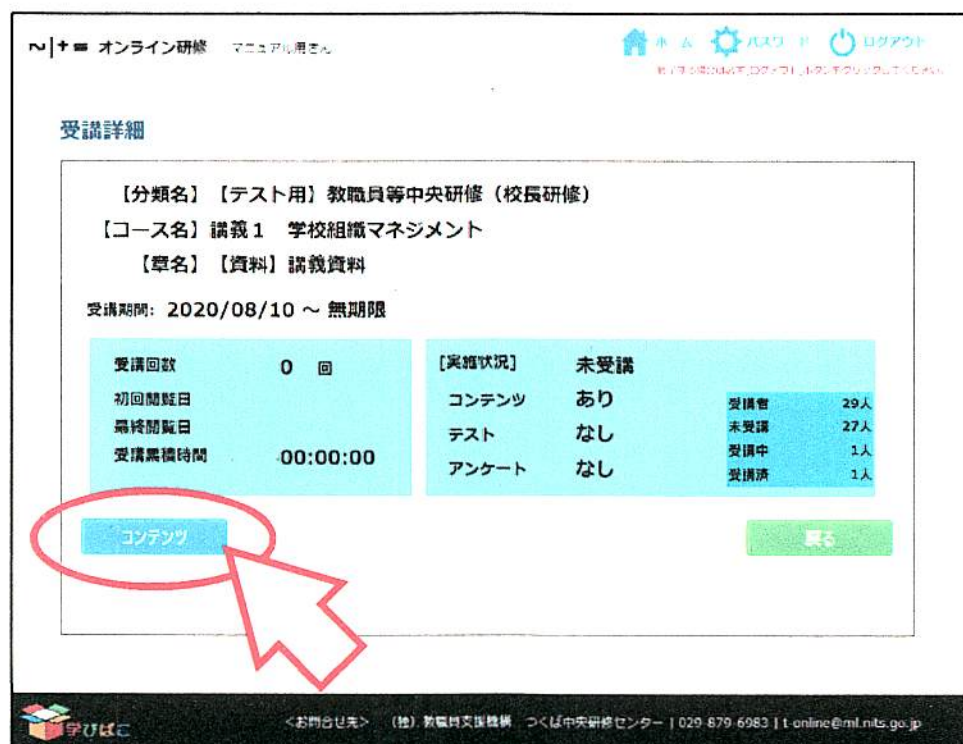
- (2) 各講義名が表示されたら、受講する講義をクリックする



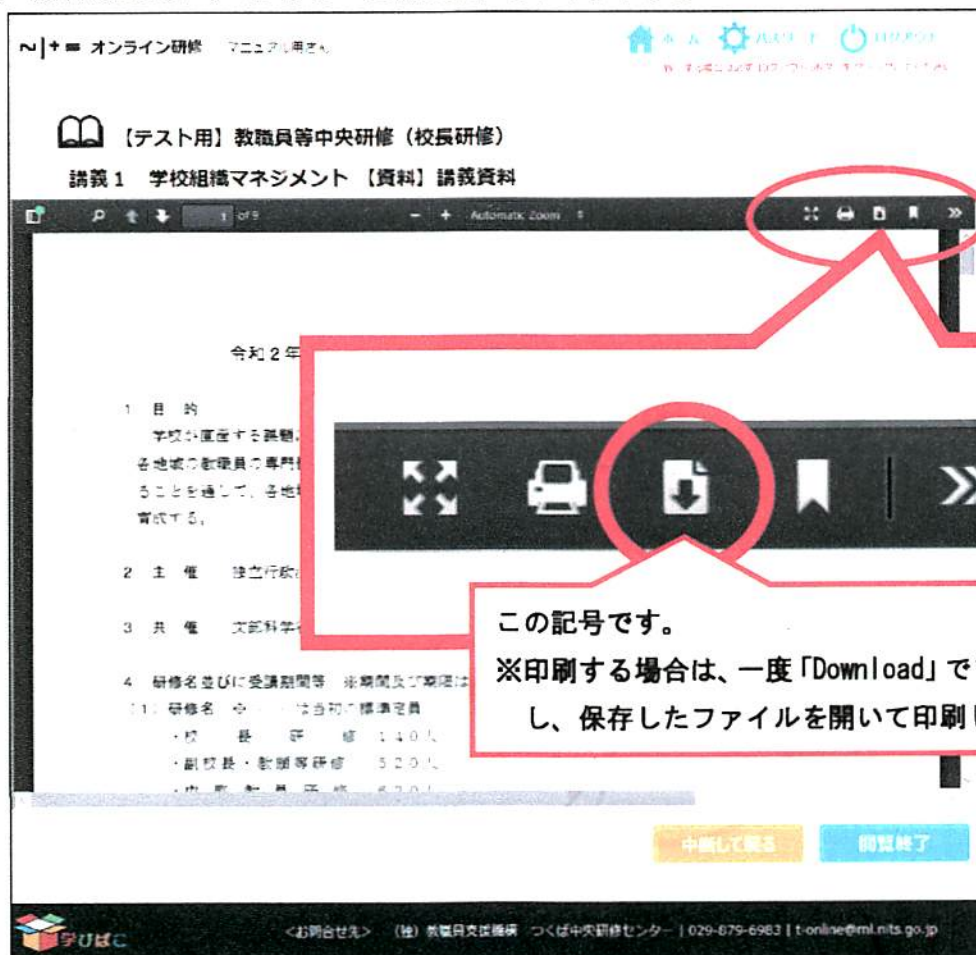
- (3) 選択した講義に係わるコンテンツ（資料、動画、リフレクションの時間に取り組むアンケート等）が表示されるので、【資料】をクリックする



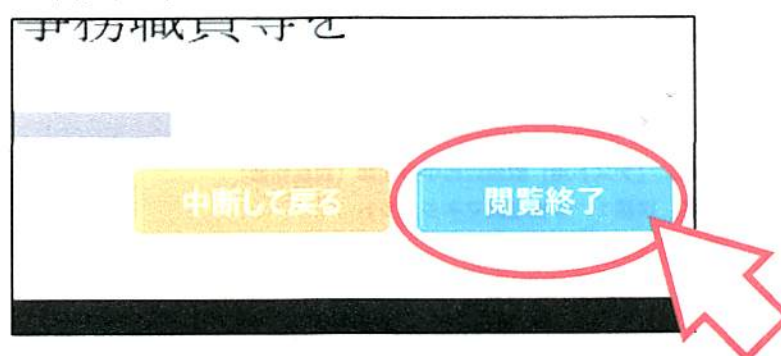
- (4) 画面左下の「コンテンツ」をクリックする



(5) 資料右上のアイコンから「Download」をクリックする



(6) 画面右下の「閲覧終了」をクリックして戻る



(7) 各画面右下の「戻る」をクリックし、必要な画面まで戻る

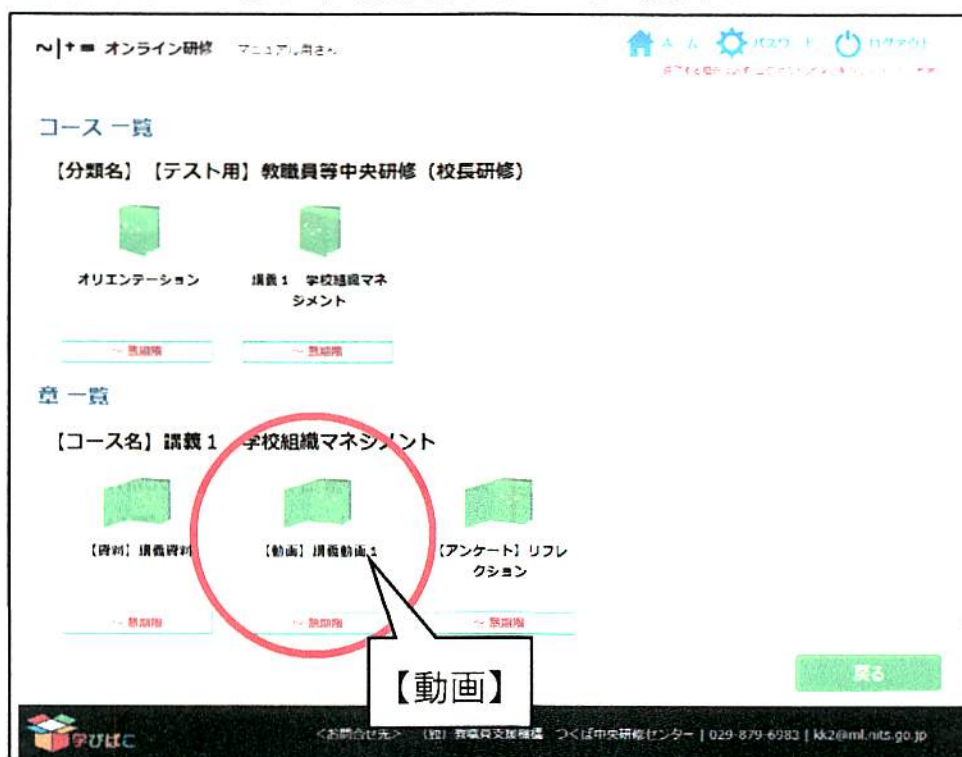


3. 講義動画を視聴する

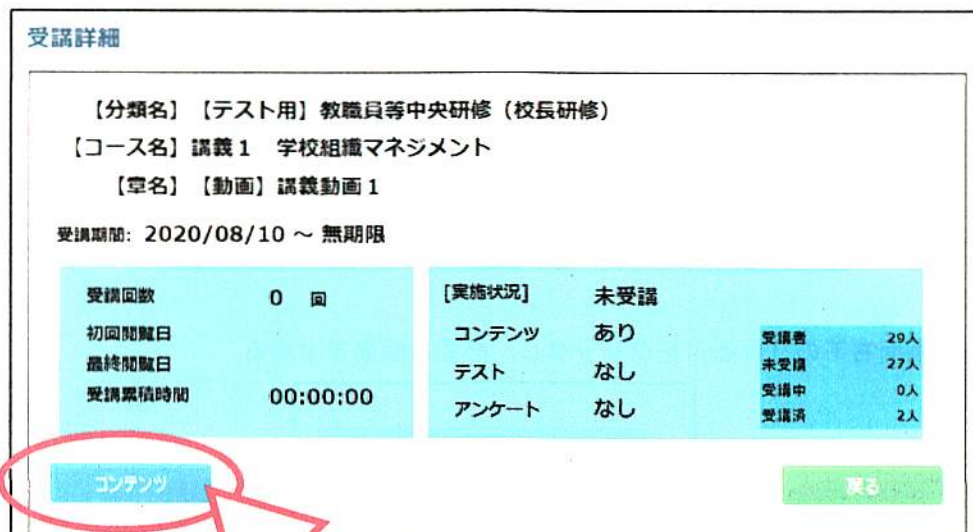
(1) 「2 (2)」までと同様に、受講する講義をクリックする

(2) 【動画】をクリックする

※複数動画がある場合は、「講義動画1」から順に視聴する



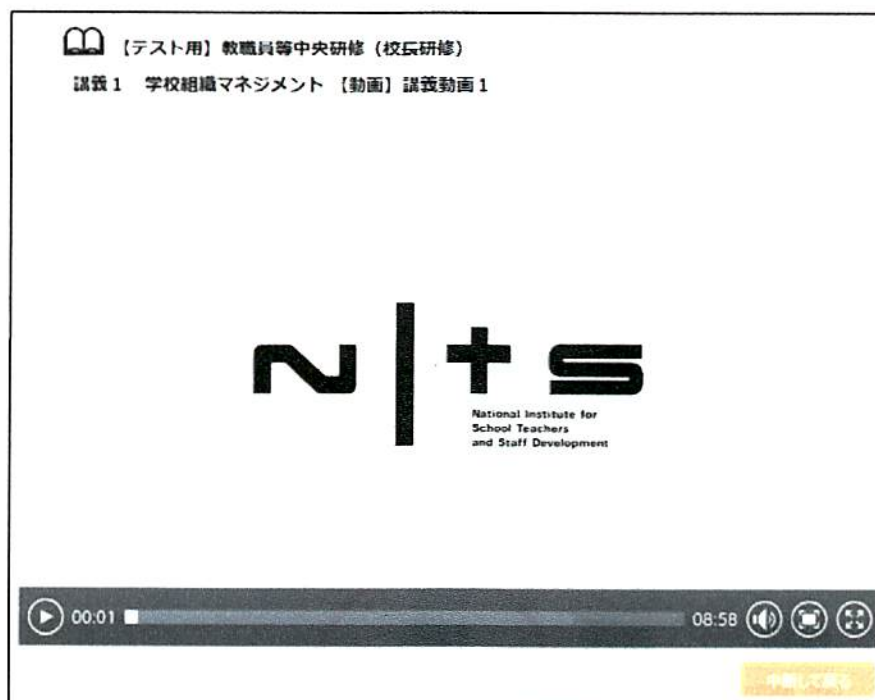
(3) 画面左下の「コンテンツ」をクリックする



(4) 動画が再生されるので、視聴する

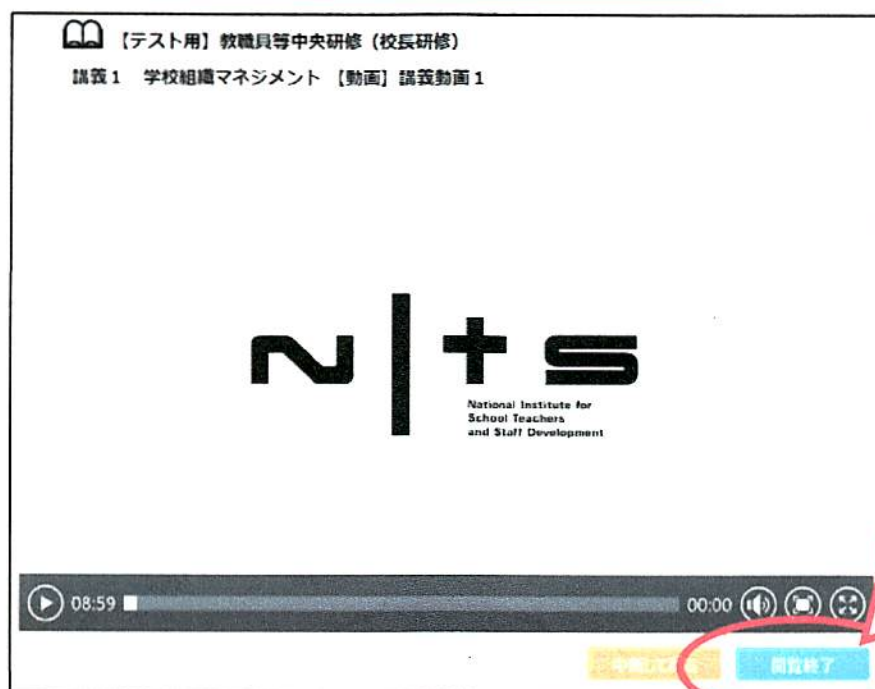
※中断して視聴をやめるときは、右下の「中断して戻る」をクリックしてください。

再度視聴を開始すると、中断した時点から再生が始まります。



(5) 動画を視聴し終わると「閲覧終了」ボタンが表示されるので、クリックする

※受講終了時は必ず「閲覧終了」をクリックしてください。



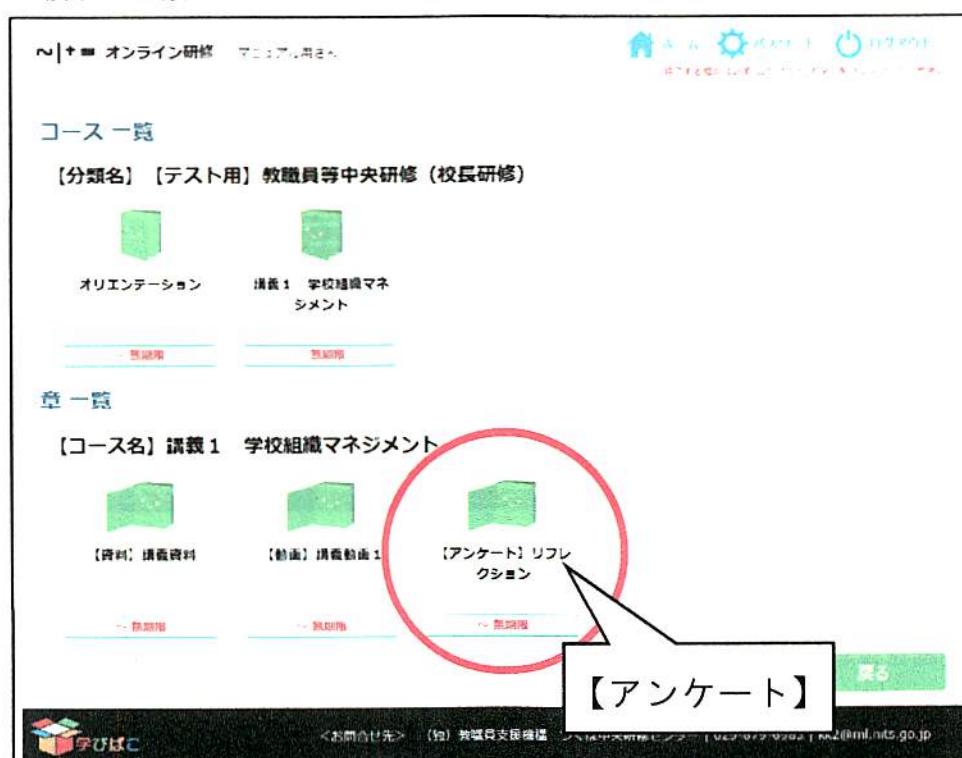
(6) 各画面右下の「戻る」をクリックし、必要な画面まで戻る（「2.（7）」と同じ）

4. 講座アンケート等へ回答する

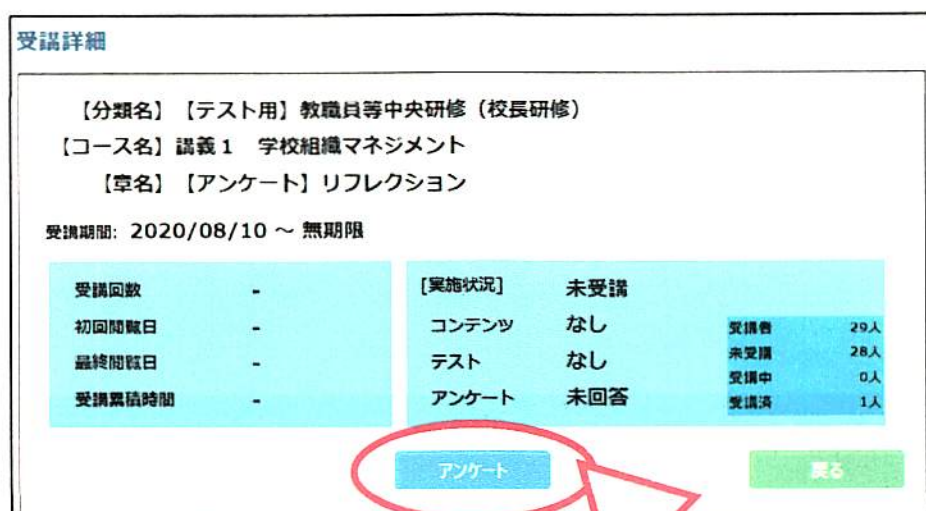
(1) 「2 (2)」までと同様に、受講する講義をクリックする

(2) 【アンケート】をクリックする

※複数ある場合は、「アンケート1」から順に回答する



(3) 画面中央下の「アンケート」をクリックする



(4) 項目に回答し、右下の「完了」をクリックする

講義1 学校組織マネジメント【アンケート】リフレクション
「学校組織マネジメント」リフレクション

アンケートにご協力ください。

※自由記述において意見が無ければ「特になし」と記入してください。

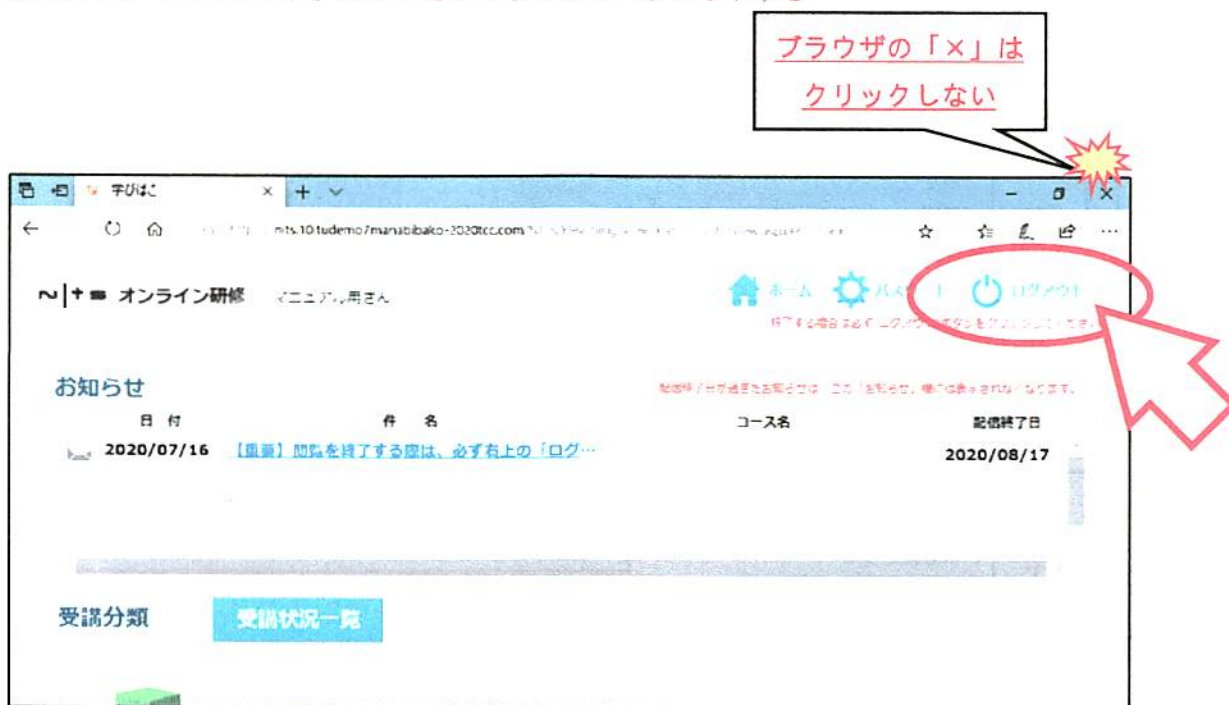
No.	アンケート内容
1	動画の画質（映像）について ☐ 良かった ☐ 普通 ☐ 悪かった
2	動画の音質（音声）について ☐ 良かった ☐ 普通 ☐ 悪かった
3*	講座有意義度 ☐ 大変有意義だった ☐ 有意義だった ☐ あまり有意義ではなかった ☐ 全く有意義ではなかった
4*	リフレクション内容のまとめ（本講座の学びを振り返り、学んだことや考えたこと等を簡単に記入してください）

※このアンケート項目はサンプルです。
 研修受講時に表示された項目に回答してください。

完了

5. 「学びばこ」からログアウトする

必ず右上の「ログアウト」ボタンをクリックしてログアウトする



【右上のアイコンの説明】

- ・ホーム………どのページを閲覧している場合でも、ホーム画面に戻ります。
- ・パスワード…パスワードの変更ができます。
- ・ログアウト…「学びばこ」からログアウトできます。

ログアウトせずにブラウザを閉じた場合、90分程度ログインができなくなります。（「同一ユーザーが既にログインしている可能性があります。」と表示されます。）

研修中断時や研修終了時は、必ず「ログアウト」をクリックしてください。

6. その他Q & A

Q 1. パスワードを忘れてしまった。

A 1. 画面下部の「パスワードをお忘れの方」から再発行をしてください。(登録メールアドレスを使用します。)

再発行がうまく出来ない場合は、「お問合せ先」まで御連絡ください。パスワードをリセットします。

(電話受付時間…平日 8:30～17:15)

Q 2. 講義資料を印刷したいが、うまく印刷できない。

A 2. 講義資料の画面から直接印刷するのではなく、一度資料をダウンロードし、保存したファイルを開いて印刷してください。

印刷の設定等については、各受講環境(学校の環境など)によって異なりますので、担当の方に御質問ください。

Q 3. ログインしようとする、「同一ユーザーが既にログインしている可能性があります。」と表示される。

A 3. ほかのパソコンやタブレット等でログインしている場合は、ログアウトしてください。

心当たりがないのにログインできない場合は、「お問合せ先」まで御連絡ください。

(電話受付時間…平日 8:30～17:15)

【学びばこについての問合せ先】

独立行政法人教職員支援機構

つくば中央研修センター研修プロデュース室

T E L : 029-879-6972、6639

E - m a i l : t-online@ml.nits.go.jp

取組・課題等について

本研修では、以下の取組を設定しています。

取組時期	内容	提出時期・提出方法	資料
研修前	研修成果活用 計画書	推薦者に提出 (推薦者から教職員支援機構に提出) 提出期限：推薦者の指定した期日	(課題様式1)
	事前学習 ※講義、リフレク ションで使用し ます。	(課題様式2) 全受講者 (課題様式3) 小中学校部会受講者 (課題様式4) 高等学校部会受講者 ※提出の必要はありません。	(課題様式2) (課題様式3) (課題様式4)
研修中	リフレクション のまとめ	各講義終了後、リフレクションの時間 「学びばこ」の入力フォームに記入	—
	研修プランの 作成	第6講の演習の時間を使って「研修プラン」を作成 する。※提出の必要はありません。	研修プラン 作成シート
	課題レポート	研修期間毎に設定された期日 「学びばこ」の入力フォームに記入	—

各様式(Word ファイル)及び「研修プラン作成シート」(Excel ファイル)は、教職員支援機構 Web ページ
(<https://www.nits.go.jp/training/102/016.html>)からダウンロードしてください。

(TOP ページ>研修・セミナー>指導者養成研修>⑤喫緊の教育課題に対応する指導者養成研修>道徳教育指導
者養成研修>オンライン研修>ダウンロードデータ (ページ下部))

1. 研修成果活用計画書(課題様式1)

本研修の受講者は、各地域において、研修内容を踏まえた研修の講師等としての活動や、各学校等への指導助言等を行っていただくことが受講の要件となっております。

そこで、受講者は本研修で何を学び、地域や学校の課題に即して、どのように研修成果を生かすかについて、事前に計画を立てていただきます。

研修では、作成した「研修成果活用計画書」(課題様式1)を基に、最終日の講義・演習において、実施可能な研修プランを作成していただきます。

- ・提出方法…推薦者に提出
- ・提出期限…推薦者が定める期限

2. 事前学習(課題様式2)～(課題様式4)

(1) 課題様式2「各学校の道徳教育の重点目標に関わる各教科(道徳科の授業以外)の学習指導案(略案)」「以下「略案」とする。)について

学校や地域の実情、児童生徒の実態等を踏まえた重点目標に基づいて定めた重点内容項目について（高等学校については、重点目標を達成するために）、どのように具体的な指導を展開するのかを、各教科等（道徳科以外）の略案にまとめてください。管理職及び指導主事等、現在授業を行っていない場合は、特定の校種、教科等、学年を想定して略案を作成してください。なお、各教科等の略案作成に当たっては、当該教科等の特質を損なうことがないように留意してください。

また、小・中学校の略案は「小・中学校学習指導要領解説 総則編」（平成29年7月）「第3章 第6節1（3）各教科等における指導の基本方針」を踏まえてください。

※この様式は、主に「第1講 道徳教育のマネジメントについて」で使用します。

（2）課題様式3『特別の教科 道徳』の学習指導案（略案）（以下「略案」とする。）について

「小・中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」（平成29年7月）「第3節 指導の配慮事項」を意識し実践したあるいは試みた事例について略案を作成してください。また、学校として取り組んでいるまたは計画している評価への取組について簡潔に記述してください。

※この様式は、主に「第3講 『特別の教科 道徳』の指導と評価」（小・中学校部会）で使用します。

（3）課題様式4「人間としての在り方生き方に関する教育の取組事例と課題についてのレポート」について

（1）の3点について学校全体の取組と課題について整理し、（2）については、実践事例について整理し、レポートを作成してください。

※この様式は、主に「第3講 人間としての在り方生き方に関する教育の展開」（高等学校部会）で使います。

3. リフレクションのまとめ

日程表【資料1】に記載のとおり、各講義終了後に「リフレクション」の時間を設けています。

この時間は、講義を通じて学んだ内容を振り返り、自分の実践や今後の学校改善と関連づけて学びを整理する時間です。なお、講師から取り組む内容について指示がある場合があります。その際には、指示された内容に取り組んでください。

リフレクションの時間に考えた内容は、「学びばこ」の入力フォームに記入していただきます（提出用の回答は簡潔に数行程度でも構いません）。操作方法は【資料3】を参照ください。

4. 研修プランの作成（第6講演習）

事前に作成した（課題様式1）「研修計画活用計画書」を基に、第6講において、具体的な研修プランを作成していただきます。事前の説明を第6講の動画で行いますので、事前に「研修プラン作成シート」をダウンロードの上、動画を視聴してください。動画視聴後、実際に開催する研修について、具体的な研修プランを作成していただきます。

なお、この研修プラン作成シートは提出の必要はありません。ただし、本研修を生かし、実際に開催していただく研修のプランとなりますので、確実に作成してください。

※ 「研修プラン作成シート」の「2 研修の具体的な内容」の記入例

〈作成例〉市道徳教育推進教師等研修会

時間 (分)	研修形態	研修内容	活動	準備物・留意点など
60 分	講義	・道徳教育推進教師の役割 ・ ・	・講義後、質疑応答をする。 ・ ・	・プロジェクター ・ ・
60 分	協議	・各校や地域の取組紹介 ・ ・	・参加者の間での意見交換 ・ ・	・20分毎にグループを変える。 ・ ・
120 分	演習	・具体的な授業案の作成(小・中) ・指導計画の見直し(高) ・	・授業案の作成 ・指導計画の作成 ・	・様式 ・ ・

5. 課題レポート

課題レポートは、本研修での学びを総合的に振り返るために行うものです。1,500字以内で作成し、「学びばこ」の入力フォームに記入していただきます。「閉講にあたって」の動画で作成のポイントなどを解説します。

令和 2 年度道德教育指導者養成研修（NITS オンライン研修）

研修成果活用計画書

都道府県等名		所属 (学校名/教育委員会名)	
職名		氏名	受講者 番号

〈受講者記入欄〉

1 本研修で学びたい内容

--

2 研修成果の具体的な活用方策 【教育委員会等主催の研修・校内研修】※実施予定の研修に○

対象
時期
※以下のいずれかについて記述してください。
教育委員会等主催の研修：①管内における道德教育に関する現状と課題 ②対象者の育成指標または研修のねらい
校内研修：①学校教育目標を踏まえた道德教育の重点目標 ②児童生徒及び教職員の現状と課題

〈所属長記入欄※〉

所属		職名		氏名	
1 本研修に参加する職員へ期待する研修の成果					
2 研修成果を活かすための具体的な場とそこでの役割（予定）					

※ 学校籍の方は校長、教育委員会籍の方は所属課長、教職大学院に籍がある方は指導教官または、所属校校長、その他の方は上記に類する方が御記入をお願いします。

令和 2 年度道徳教育指導者養成研修（NITS オンライン研修）

【第 1 講】道徳教育のマネジメントについて

あなたの学校では、どのような子供像を設定して道徳教育を推進していますか？	
その子供像及び重点目標は道徳科のどの内容と関わりがありますか？	
道徳教育を推進する上で のポイントは何か？	
それがあなたの学校の重点内容項目です。これは、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の重点でもあるのです！ それでは、重点内容項目に関わる指導を考えてみましょう！ 教科と学年、単元や題材などを想定してください。	
教科等名	(校種 第 学年)
単元・題材名	
本時の目標 (道徳教育の視点)	
1 時間の授業の中で、どのような内容項目を手掛かりに道徳性を養うのが分かるような授業の流れを想定してください。このときに、教科等の特質をしっかりと押さえましょう。	
指導の流れ	

《課題様式2の記入について》

あなたの学校では、どのような子供像を設定して道徳教育を推進していますか？	※道徳教育の重点目標を記述する。 例) 豊かな情操と思いやりの心を育て、集団や社会の一員として自ら考え、進んで実践する態度を育てる。
その子供像及び重点目標は道徳科のどの内容と関わりがありますか？	※学習指導要領の道徳科の内容を記述する(高等学校は中学校の内容を参照)。 例) B 親切, 思いやり〔第3学年及び第4学年〕、C 規則の尊重〔第3学年及び第4学年〕
道徳教育を推進する上で のポイントは何ですか？	例) 全教職員への共通理解を図るため・・・
それがあなたの学校の重点内容項目です。これは、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の重点でもあるのです！ それでは、重点内容項目に関わる指導を考えてみましょう！ 教科と学年、単元や題材などを想定してください。	
教科等名	※教科等名、校種と学年を記述する。 例) 国語科 (小学校第4学年)
単元・題材名	※単元名や題材名を記述する。 例) ごんぎつね
本時の目標 (道徳教育の視点)	※本時の目標(と道徳教育の視点を記述する)。 例) ごんが兵十に償いをしに行く様子を読んで、兵十への思いやりを深めていく様子を読みとる。 (ごんの気持ちを想像することで思いやりのよさや大切さを感じられるようにする。)
1時間の授業の中で、どのような内容項目を手掛かりに道徳性を養うのかが分かるような授業の流れを想定してください。このときに、教科等の特質をしっかりと押さえましょう。	
指導の流れ	※1時間の簡単な流れを記述する。 1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。 ごんはどんな思いで、兵十にウナギのつぐないをしたのだろう 2 第3章を読んで、ごんの思いをまとめる。 3 グループでそれぞれのまとめを発表し合う。 4 「ごんがどんな思いで兵十に償いをしようとしたのか」を学級全体で話し合う。 ★ ごんの兵十に対する思いやりで、いいなあと思ったことを発表し合う。 5 学習のまとめをする。

令和2年度道德教育指導者養成研修（NITS オンライン研修）

【第3講】特別の教科 道德の指導と評価

- 1 指導の配慮事項（学習指導要領解説「特別の教科 道德編」第4章 第3節）の7点のうちいずれかに配慮した、「特別の教科 道德」の学習指導案（略案）を作成してください。

意識または工夫した配慮事項

（例 7 家庭や地域社会との連携による指導(2) 道德科の授業への積極的な参加や協力を得る工夫）

道 徳 科 学 習 指 導 略 案（○学校第○学年）

- 1 主題名 ○○○○○○○○○ 道德科の内容○ ○○○○○○（例 A 正直、誠実）
 2 教材名 ○○○○○○○○○（出典：○○○○「○○○○」）
 3 ねらい ○○○○○○○○……
 4 主題設定の理由
 (1) ねらいとする道德的価値について
 ○○○○○○○○○○○○○……
 (2) 児童（生徒）の実態について
 ○○○○○○○○○○○○○……
 (3) 教材について
 ○○○○○○○○○○○○○……
 5 授業改善の視点（指導上の配慮事項に関して、本時で取り上げた理由や目的を記述する。）
 6 学習指導過程

※児童生徒の実態、教材の捉えや指導上の主な工夫等を中心に、簡潔に整理してください。

※表枠組みの項目立て等は、本枠を参考に、各自で考えてください。
 なお、指導の一部をクローズアップした記述でも可です。

2 道德科における評価について

※以下の2点について実施あるいは計画していることを簡潔に記述してください。

- ①児童生徒の学習状況及び成長の様子についての評価の取組
 ②授業に対する評価の取組

令和 2 年度道德教育指導者養成研修（NITS オンライン研修）

【第 3 講】人間としての在り方生き方に関する教育の展開

●高等学校学習指導要領第 1 章第 1 款の 2 に記載されている「人間としての在り方生き方に関する教育」について

- (1) ①学校としての指導の重点や方針を明確にした全体計画や年間指導計画の作成・活用
②効果的な体験活動の工夫 ③全教職員や保護者・地域の人々の理解の促進及び連携協力体制について、学校全体の取組と課題について整理する。

- (2) 日常の指導や、家庭や地域社会との連携など具体的な実践事例について整理する。

NITSニュース

もちろん無料♪

メールマガジンの登録

はじめまして！独立行政法人 教職員支援機構（NITS）です。当機構では、全国の教職員の方々を対象に研修を行うとともに、様々な支援事業を行っています。その一環として、毎週金曜日にメールマガジンを配信しています。ぜひご登録をお待ちしています。（現在約 16,000 名の登録者がいます）

大学の先生によるお話

大学教授等によるコラム、研修内容等の紹介

研修受講者によるお話

講義・演習の感想、実践事例の紹介

NITS オンライン講座の紹介

オンライン講座「校内研修シリーズ」の紹介

機構事業の最新情報の紹介

NITS 大賞、NITS カフェなど、気になる最新情報の紹介



〈登録方法〉

- 1 ホームページ下のバナー「メールマガジン」をクリック
または、QR コードから「NITS ニュース」ページにアクセスしてください。
- 2 「新規登録」をクリックし、必要事項を入力、登録ボタンをクリックしてください。



NITS
National Institute for
School Teachers
and Staff Development